

体育 評価規準【4年】

単元名		体づくり運動 体ほぐしの運動
単元の目標		●手軽な運動を行い、その行い方を知るとともに、体を動かす心地よさを味わったり心と体の変化に気づき、みんなで関わり合ったりすることができるようにする。 ●自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすること。
単元の 観点別 評価規準	知識・運動	1 体ほぐしの運動の行い方がわかる。 2 手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や友達の心と体の状態に気付いたり、みんなで豊かに関わり合ったりすることができる。
	思考・判断・表現	1 自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 2 新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 3 基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。
	主体的に学習に 取り組む態度	1 体ほぐしの運動に進んで取り組んでいる。 2 きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 3 使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 4 友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 5 活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。

単元名		体づくり運動 多様な動きをつくる運動
単元の目標		●体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをし、それらを組み合わせることで基本的な動きを身に付けることができるようにする。 ●自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

単元の 観点別 評価規準	知識・運動	1 多様な動きをつくる運動の行い方がわかる。 (ア) 体のバランスをとる運動 姿勢や方向、人数を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、座る、立つ、渡るなどの動きやバランスを保つ動きで構成される運動を通して、体のバランスをとる動きを身に付けることができる。 (イ) 体を移動する運動 姿勢、速さ、リズム、方向などを変えて、這う、歩く、走る、跳ぶ、はねる、登る、下りるなどの動きで構成される運動や、一定の速さでのかけ足などの運動を通して、体を移動する動きを身に付けることができる。 (ウ) 用具を操作する運動 用具をつかむ、持つ、降ろす、回す、転がす、くぐる、運ぶ、投げる、捕る、跳ぶ、用具に乗る、跳び越すなどの動きで構成される運動を通して、巧みに用具を操作する動きを身に付けることができる。 (エ) 力試しの運動 人や物を押す、引く、運ぶ、支える、ぶら下がるなどの動きや、力比べをするなどの動きで構成される運動の行い方を知り、力を出し切ったり力の入れ方を加減したりする動きができる。 (オ) 基本的な動きを組み合わせる運動 バランスをとりながら移動する、用具を操作しながら移動するなど二つ以上の動きを同時に行ったり、連続して行ったりする運動を通して、基本的な動きの組み合わせた動きを身に付けることができる。
	思考・判断・表現	1 自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 2 新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 3 基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	1 多様な動きをつくる運動に進んで取り組んでいる。 2 きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 3 使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 4 友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 5 活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。

単元名		器械運動 マット運動
単元の目標		●マット運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を理解するとともに、回転系や巧技系の基本的な技をできるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。 ●運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすること。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1 マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 2 自分の力に合った回転系（前転など）や巧技系（壁倒立など）の基本的な技ができる。 3 基本的な技に十分に取り組んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。
	思考・判断・表現	1 学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 2 技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 3 自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 4 見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	1 マット運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 2 マットなどの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 3 器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 4 互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 5 場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。

単元名		器械運動 鉄棒運動
単元の目標		●鉄棒運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を理解するとともに、支持系の基本的な技をできるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。 ●運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすること。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1 鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 2 自分の力に合った支持系の基本的な技をすることができる。 3 基本的な技に十分に取り組んだ上で、それらの発展技に取り組んだり、技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。

	思考・判断・表現	1 学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 2 技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 3 自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 4 見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	1 鉄棒運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 2 鉄棒などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 3 器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 4 互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 5 場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。

単元名		器械運動 跳び箱運動
単元の目標		●跳び箱運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を理解するとともに、切り返し系や回転系の基本的な技をできるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。 ●運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすること。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1 跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 2 自分の力に合った切り返し系（開脚跳びなど）や回転系（台上前転など）の基本的な技をすることができる。 3 基本的な技に十分に取り組んだ上で、それらの発展技に取り組むことができる。
	思考・判断・表現	1 学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 2 技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 3 自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 4 見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	1 跳び箱運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 2 跳び箱、踏み切り版などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 3 器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 4 互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 5 場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。

単元名		走の運動 かけっこ・リレー
単元の目標		●かけっこ・リレーの楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、調子よく走ったりバトンを受け渡したりすることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け、動きを身に付けるための活動や競争の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1 かけっこ・リレーの行い方がわかる。 2 スタート姿勢から素早く走り出すことができる。 3 真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って走ることができる。 4 走りながら、タイミングよくバトンの受渡しができる。 5 コーナーの内側に体を軽く傾けて走ることができる。
	思考・判断・表現	1 かけっこやリレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 2 かけっこやリレーのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、速く走るための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 3 運動の仕方について考え、競走の規則やリレーの仕方を話し合っ決めて、選んだりしている。 4 かけっこ・リレーのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想を書いたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	1 かけっこ・リレーに進んで取り組んでいる。 2 きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 3 使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 4 勝敗を受け入れている。 5 互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 6 かけっこ・リレーをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

単元名		走の運動	小型ハードル走
単元の目標		●小型ハードル走の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、小型ハードルを調子よく走り越えることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け、動きを身に付けるための活動や競争の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることをできるようにする。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1 小型ハードル走の行い方がわかる。 2 インターバルの距離やいろいろな小型ハードルの高さに応じて調子よく小型ハードルを走り越すことができる。 3 一定の間隔に並べられた小型ハードルを一定のリズム（3歩のリズム）で走り越すことができる。	
	思考・判断・表現	1 調子よく走り越せるコースを作り、自分に合ったコースを選んでいる。 2 小型ハードル走のポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 3 小型ハードル走のポイントについて見合ったり、教え合ったりしている。 4 競走の仕方について考え、競走の規則を話し合って決めたり、選んだりしている。 5 小型ハードル走のポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想を書いたりしている。	
	主体的に学習に取り組む態度	1 小型ハードル走に進んで取り組んでいる。 2 きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 3 使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 4 勝敗を受け入れている。 5 互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 6 小型ハードル走をする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。	

単元名		跳の運動	幅跳び
単元の目標		●幅跳びの楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、短い助走から踏み切って跳ぶことができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け、動きを身に付けるための活動や競争の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることをできるようにする。	

単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1 走り幅跳びの行い方がわかる。 2 5～7歩程度のリズムカルな助走から踏み切り足を決めて前方に強く踏み切り、遠くへ跳ぶことができる。 3 膝を柔らかく曲げて、両足で着地することができる。
	思考・判断・表現	1 走り幅跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 2 走り幅跳びのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、遠くに跳ぶための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 3 競争の仕方について考え、競争の規則や記録への挑戦の仕方を話し合ったり、決めたり、選んだりしている。 4 走り幅跳びのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想を書いたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	1 走り幅跳びに進んで取り組んでいる。 2 きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 3 使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 4 勝敗を受け入れている。 5 互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 6 走り幅跳びをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

単元名	跳の運動 高跳び	
単元の目標	●高跳びの楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、短い助走から踏み切って跳ぶことができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け、動きを身に付けるための活動や競争の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1 高跳びの行い方がわかる。 2 3～5歩程度のリズムカルな短い助走から踏み切り足を決めて上方に強く踏み切り、高く跳ぶことができる。 3 膝を柔らかく曲げて、足から着地することができる。
	思考・判断・表現	1 高跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 2 高跳びのポイントについて見合ったり、教え合ったりし、高く跳ぶための練習方法の中から、自分の力に合った練習方法や練習の場を選んでいる。 3 競争の仕方について考え、競争の規則や記録への挑戦の仕方を話し合ったり、決めたり、選んだりしている。 4 高跳びのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想を書いたりしている。

	主体的に学習に取り組む態度	1 高跳びに進んで取り組んでいる。 2 きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 3 使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしている。 4 勝敗を受け入れている。 5 互いの動きを見合ったり、動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めている。 6 高跳びをする場所の危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。
--	---------------	--

単元名		水泳
単元の目標		●水泳運動の楽しさや喜びに触れ、け伸びや初歩的な泳ぎ、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろなもぐり方や浮き方ができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け、水の中での動きを身に付けるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることをできるようにする。 ●運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を付けたりすることをできるようにする。
単元の観点別評価規準	知識・技能	【浮いて進む運動】 1 浮いて進む運動の行い方がわかる。 2 友達に手を引かれたり足を押されたりした勢いを利用して、伏し浮きの姿勢で続けて進むことができる。 3 プールの底や壁を両足で蹴った勢いを利用して進むけ伸びができる。 4 補助具を用いて浮き、呼吸をしながら手や足を使って進む初歩的な泳ぎができる。 1 水面に顔を付け、手や足をゆっくりと動かし進むなど、呼吸を伴わない簡単なクロールや平泳ぎなどの初歩的な泳ぎをすることができる。 2 ばた足泳ぎやかえる足泳ぎ、簡単なクロールや平泳ぎなど、頭の上方に腕を伸ばした姿勢で、手や足をバランスよく動かし、呼吸をしながら進むことができる。 【もぐる・浮く運動】 1 もぐる・浮く運動の行い方がわかる。 2 呼吸を調整しながらプールの底にタッチ、股くぐり、変身もぐりなどのいろいろなもぐり方ができる。 3 補助具を使って浮力を生かしたいろいろな浮き方をすることができる。 4 大きく息を吸い込み全身の力を抜いて背浮き、だるま浮き、変身浮きなどのいろいろな姿勢で浮くことができる。 5 だるま浮きやボビングなどを活用した簡単な浮き沈みができる。

	思考・判断・表現	1 自分で立てためあてに挑戦し、自分の課題を見付けている。 2 補助具を活用したり、友達に補助してもらったりするなど、自分の力に合った練習の仕方を選んでいる。 3 友達のよい動きや、課題の解決のための動きのポイントを見付け、言葉や動作で伝えている。 4 自分で試したいろいろなもぐり方や浮き方を友達に伝えたり、互いのよい動きの真似をしたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	1 水泳運動に進んで取り組んでいる。 2 きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 3 使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 4 互いの動きを見合ったり補助をし合ったりするときに見付けた動きのよさや課題について伝え合う際に、友達の考えを認めている。 5 水泳運動の心得を守って安全を確かめている。

単元名		ゲーム ゴール型ゲーム フラッグフットボール
単元の目標		●フラッグフットボールの楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをできるようにする。 ●規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができるようになる。 ●運動に進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることをできるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1 フラッグフットボールの行い方がわかる。 2 味方にボールを手渡したり、パスを出したり、ゴールにボールをタッチダウンすることができる。 3 ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。
	思考・判断・表現	1 誰もが楽しくフラッグフットボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 2 フラッグを取ったり、タッチダウンするための簡単な作戦を話し合ったり、選んだりしている。 3 課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	1 フラッグフットボールに進んで取り組んでいる。 2 規則を守り、誰とでも仲よくしている。 3 使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 4 勝敗を受け入れている。 5 互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 6 使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

単元名		ゲーム ゴール型ゲーム ミニサッカー
単元の目標		●ミニサッカーの楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをできるようにする。 ●規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることをできるようにする。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1 ミニサッカーの行い方がわかる。 2 ボールを持ったときにゴールに体を向けることができる。 3 味方にパスを出したり、シュートをしたりすることができる。 4 ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。
	思考・判断・表現	1 誰もが楽しくミニサッカーができるように、プレイヤーの人数やコート of 広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 2 得点を多くあげるために、シュートにつながる簡単な作戦を話し合ったり、選んだりしている。 3 課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	1 ミニサッカーに進んで取り組んでいる。 2 規則を守り、誰とでも仲よくしている。 3 使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 4 勝敗を受け入れている。 5 互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 6 使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

単元名		ゲーム ネット型ゲーム キャッチバレー
単元の目標		●キャッチバレーの楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって、易しいゲームをできるようにする。 ●規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることをできるようにする。

単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1 キャッチバレーの行い方がわかる。 2 いろいろな高さのボールを片手、両手でキャッチしたり、パスをしたり、ねらったところに打ったりすることができる。 3 相手コートから飛んできたボールを片手、両手を使ってキャッチし、相手コートに返球することができる。 4 ボールの方向に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に移動したりすることができる。
	思考・判断・表現	1 誰もが楽しくキャッチバレーに参加できるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 2 得点を多くあげるための簡単な作戦を話し合っ決めて、選んだりしている。 3 課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	1 キャッチバレーに進んで取り組んでいる。 2 規則を守り、誰とでも仲よくしている。 3 使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 4 勝敗を受け入れている。 5 互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 6 使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

単元名	ゲーム ベースボール型ゲーム ティーボール	
単元の目標	●ティーボールの楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、打つ、捕る、投げるなどのボール操作と得点をとったり防いだりする動きによって、易しいゲームをできるようにする。 ●規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることをできるようにする。	
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1 ティーボールの行い方がわかる。 2 ボールをフェアグラウンド内に打つことができる。 3 投げる手と反対の足を一步前に踏み出してボールを投げるができる。 4 向かってくるボールの正面に移動することができる。 5 ベースに向かって全力で走り、かけ抜けることができる。
	思考・判断・表現	1 誰もが楽しくティーボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 2 攻め方や守り方の簡単な作戦を話し合っ決めて、選んだりしている。 3 課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。

	主体的に学習に取り組む態度	1 ティーボールに進んで取り組んでいる。 2 規則を守り、誰とでも仲よくしている。 3 使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 4 勝敗を受け入れている。 5 互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 6 使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。
--	---------------	---

単元名		表現運動 表現
単元の目標		●表現運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊ることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け、題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすること。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1 表現運動の行い方がわかる。 2 特徴を捉えた動きをすることができる。 3 表したい感じを、跳ぶ・転がる、素早く動く・急に止まるなど動きに差を付けて誇張したり、2人組やグループで対応・対立する動きで変化を付けたりして、ひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 4 表したい感じを中心に、感じの異なる動きや急変する場面など変化のある動きをつなげてメリハリ（緩急・強弱）のあるひと流れの動きに工夫して感じを込めて踊ることができる。
	思考・判断・表現	1 動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 2 よい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 3 友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために考えたことや友達のよい動きを伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	・運動に進んで取り組んでいる。 ・運動に取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。

単元名		表現運動 リズムダンス
単元の目標		●リズムダンスの楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、軽快なリズムに乗って全身で踊ることができるようにする。 ●自己の能力に適した課題を見付け、題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 ●運動に進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすること。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1 リズムダンスの行い方がわかる。 2 ロックサンバのリズムダンスにおいて、変化をつけた動きを入れながら、いくつかの曲を即興的に踊ることができる。 3 2～3人組でロックやサンバのリズムの特徴を捉えた動きや変化をつけた動きで踊ることができる。
	思考・判断・表現	1 ロックやサンバのリズムの動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 2 ロックやサンバのリズムにおけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 3 友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために工夫して考えた動きを一緒に踊るなどして伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	1 リズムダンスに進んで取り組んでいる。 2 リズムダンスに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 3 場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 4 友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 5 友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。